

# 平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年6月 10日記入

基本目標	Ⅱ ▼ ゆとりある みどり豊かな環境共生都市をめざして	施策コード	23120
政策名 (章)	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします	評価担当課	総務部 ▼
基本施策名 (節名)	第1節 災害に強いまちづくり		防災対策課
施策名	防災対策の強化	課長名	内田 登

## 1 施策の概要・目的

災害発生時の被害を最小限におさえ、2次災害防止のため、市民、事業者、行政が一体となり、防災対策の強化に努める。そのために、自主防災組織の活性化など、地域ぐるみの防災体制の確立を目指す。また、行政は、被災者の生活維持のため、災害時に必要な食糧や資機材の備蓄について、貯水槽、防災備蓄倉庫等を整備し、災害時の供給体制の確立に努めるものとする。

## 2 施策の現状

自主防災組織の育成は、防災リーダーの育成や防災組織の普及に努めているとともに、災害活動用資機材整備事業は、平成18年度までに配置する目標としている。災害時に最も必要な食料は概ね平成15年度から、5か年で、100%の充足を目標としている。

## 3 総事業費及び人員

### (1) 施策に要している総事業費

**290,745** 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

### (2) 市民1人当りの事業費

**472** 円/人……人口は、**61.6** 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

### (3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 **63** 番目です。

### (4) 施策に要している人員

**7.21** 人……構成事務事業全体の人員合計

## 4 評価指標

	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値			目標
			現状	目標	達成度	目標年度
指標1	備蓄充足率(食糧) 実際に確保されている食数/避難所 収容者数の3日分×100	被害量に基づく避難 所収容者数35, 000人の3日分の食 糧の確保	187,634 食 単位	0 50 100	19	目標年度
			315,000 食 単位		60%	達成度
指標2	配備率(防災備蓄倉庫) 配備数/計画配備数×100	市内全域に必要な 食料や、資機材の 備蓄を図っている。	107 箇所 単位	0 50 100	17	目標年度
			113 箇所 単位		95%	達成度
指標3			単位	0 50 100		目標年度
			単位		%	達成度

## 5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

災害発生時の生活に必要な食糧、資機材の備蓄は、市内82箇所の避難所倉庫、21箇所の広域避難場所倉庫への分散備蓄と、10箇所の一般倉庫への集中備蓄を行い、避難者への必要物資の需要に対応しているものである。

6 有効性…期待される効果があがっているか

食糧の備蓄目標は、本市直下型地震の被害量に基づく避難所収容者数の35,000人の3日分(9食分)にあたる315,000食分の備蓄や、自主防災組織が災害時、効果的に活用できる救出活動機材については、市内小・中学校の避難所倉庫に配置することにより、地域における防災力の強化を図っている。

7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

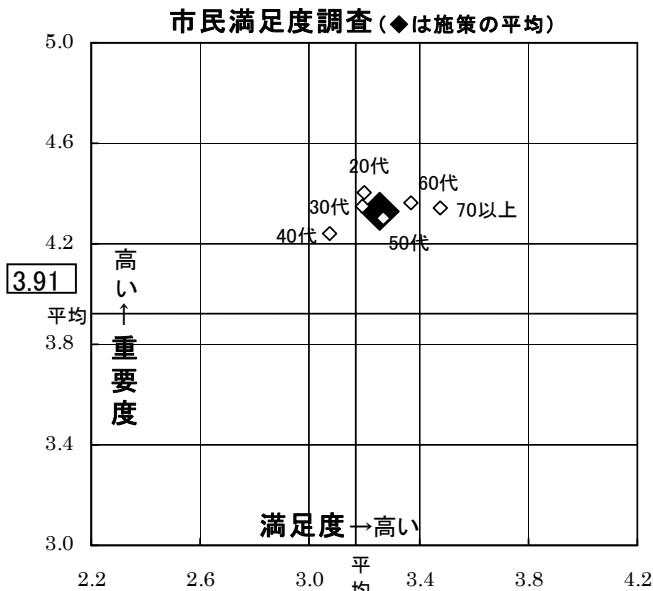
被災直後3日分の食糧の確保や、市内小・中学校の避難所倉庫に、救出活動資機材を配置することで、防災力の強化が図られている。

8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

- ◆この施策の満足度は、3.257で、調査した51施策の中で14番目です。
- ◆この施策の重要度は、4.331で、調査した51施策の中で4番目です。
- ◆この施策の改善要望度は、0.760で、調査した51施策の中で10番目です。

◇年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、40歳代で最も低くなっています。重要度は20歳代で最も高く、40歳代で最も低くなっていますが、比較的年齢による差は大きくありません。

市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「〇総合計画における位置付け等」参照)

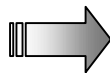


9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

食糧の備蓄については、賞味期限があるため、食糧の更新を行わなければならない。

10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充する
<input type="checkbox"/> 現状維持する
<input type="checkbox"/> 見直し



説明及び具体的内容

本市直下型地震の被害量に基づく避難所収容者数35,000人の3日分の食糧の確保については、いち早い100%充足をする必要がある。

11 2次評価

説明
<input checked="" type="checkbox"/> A
<input type="checkbox"/> B
<input type="checkbox"/> C

行政の取組みとともに、地域における自主防災組織、防災リーダー、防災ボランティアなど、市民互助による防災体制の強化を更に進めること。

12 外部意見

説明

市民の生命と財産を守るため、災害発生時に必要となる食料や資材などについて早急に必要量の備蓄を行うほか、災害時の対応方法(防災倉庫の鍵の所在等)の周知・啓発など効果的な防災対策を計画的に進める必要がある。

施策名 防災対策の強化

施策コード 23120

構成事務事業一覧

事務事業名	担当課	評価年度	決算額(千円)	人員(人)	評価の概要								今後の進め方	施策中の優先順位
					総合評価	達成度	必要性	効率性	代替性	満足度	有効性	公平性		
飲料水兼用貯水槽設置事業	防災課	14	75,439	0.51	AA	A	A	A	A	B	A	継続	1	
非常用発電設備整備事業	防災課	14	32,025	0.25	AA	A	A	A	A	B	A	継続	1	
既存建築物等総合防災対策事業	建築審査課	14	781	0.05	A	A	A	A	B	A	A	継続	3	
防災備蓄倉庫整備事業	防災課	14	10,062	0.33	AAA	A	A	A	B	A	A	継続	4	
防災行政用同報無線戸別受信機整備事業	防災課	14	20,852	0.50	AA	A	A	A	A	B	A	継続	5	
防災資機材整備費	防災課	14	40,369	0.08	AA	B	A	B	B	A	A	見直し	6	
防災情報用施設維持管理費	防災課	14	38,683	2.00	AAA	A	A	A	A	B	A	継続	7	
災害時仮設トイレ用人孔蓋整備事業	土木計画課	15	11,292	0.10	AAA	A	A	A	継続	継続	A	継続	8	
相模原市防災協会補助金	予防課	14	4,425	0.00	AAA	A	A	A	A	A	A	継続	9	
防災ボランティア推進事業	地域福祉課	14	796	0.01	A	C	A	A	A	B	A	継続	10	
防災対策啓発費	防災課	14	8,420	1.00	AA	A	B	A	A	B	A	継続	11	
防災会議委員経費	防災対策課	15	897	0.07	AA	B	A	B	継続	継続	A	継続	11	
防災対策普及啓発事業	防災対策課	14	8,108	0.12	AAA	A	A	A	A	A	A	継続	11	
避難場所維持補修費	防災課	14	4,091	0.02	AA	B	A	A	A	B	A	継続	14	
防災用車両維持管理費	防災課	14	12,894	1.42	A	B	A	A	A	B	A	継続	15	
道路点検パトロール経費	道路補修課	14	7,088	0.55	AA	A	A	A	A	B	A	継続	再掲	
災害時医療救護体制整備事業	地域医療課	14	14,523	0.20	B	B	A	B	B	B	A	継続	再掲	

合計 17 事務事業

290,745 千円 7.21 人 平成14年度評価: 達成度、必要性、効率性、有効性、代替性、満足度  
 平成15年度評価: 達成度、必要性、効率性、有効性、公平性